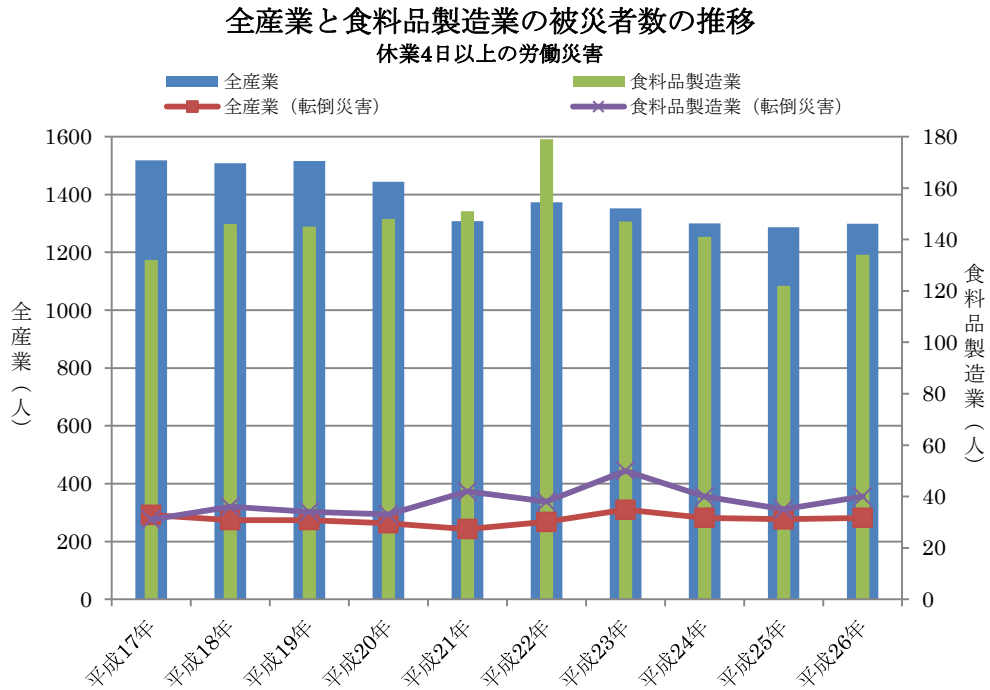


● 全産業と食料品製造業における転倒災害の発生状況

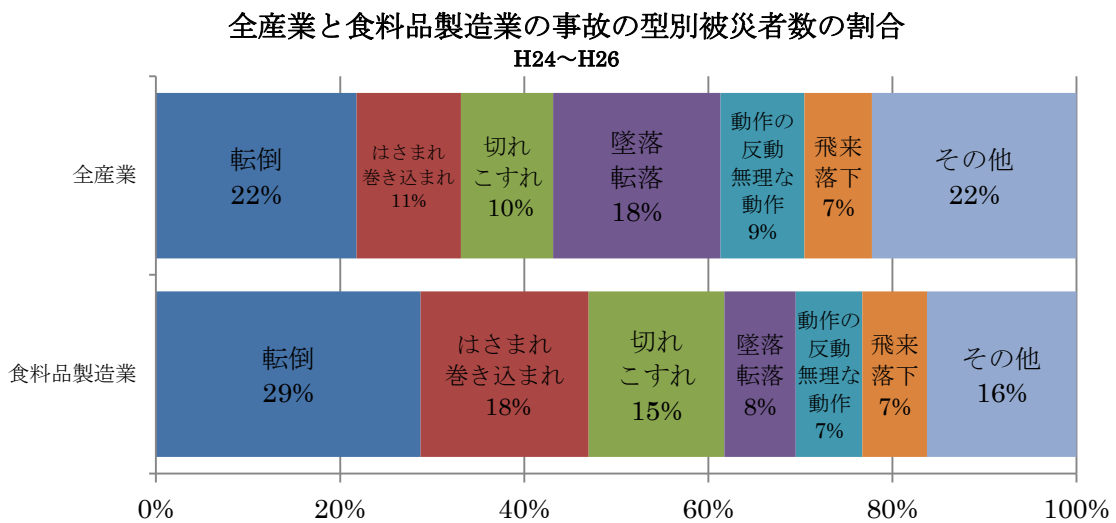
宮崎県内の平成17年から平成26年までの休業4日以上労働災害の発生状況を見ると、全体的には減少傾向にあるが、転倒災害は横ばい状況にある。

また、食料品製造業での労働災害は横ばい状況にあり、転倒災害は増加傾向にある。



● 全産業と食料品製造業における転倒災害の割合

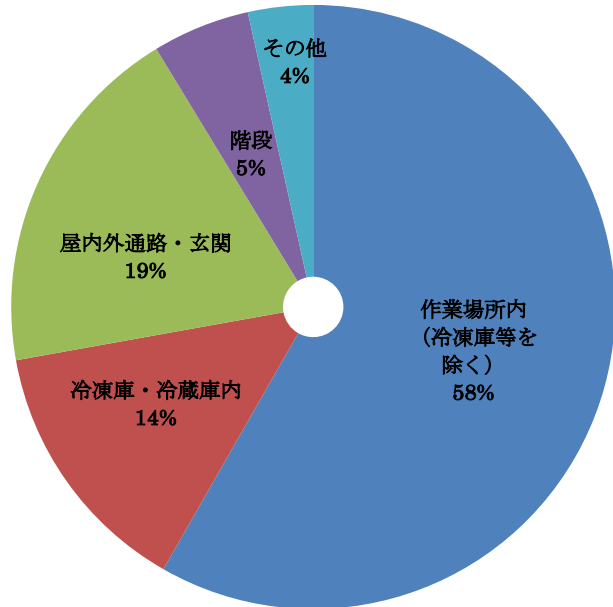
平成24年から平成26年の労働災害について事故の型別でみると、食料品製造業においては、「転倒」、「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」の割合が高く62%を占め、特に「転倒」が29%と高くなっている。



● 食料品製造業における発生場所別の転倒災害の割合

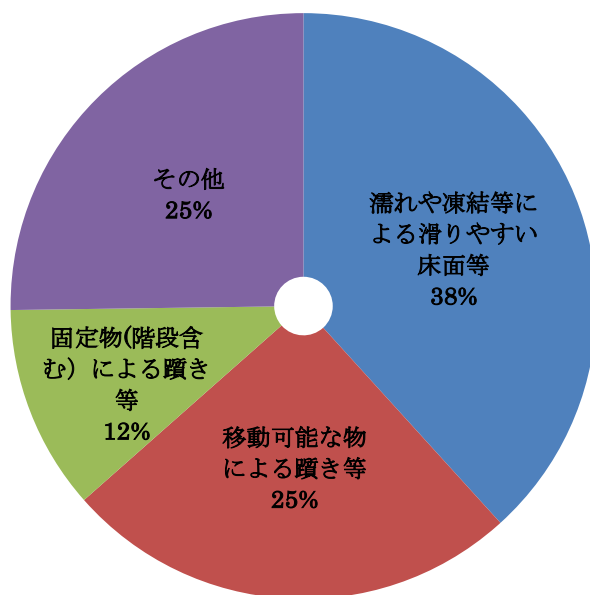
食料品製造業における休業4日以上
の転倒災害
H24～26

食料品製造業における転倒災害について、災害の発生場所別にみると、作業場所内（冷蔵庫等を除く）58%、冷蔵庫・冷蔵庫内14%、屋内外通路19%、階段5%となっており、作業場所内での災害が72%、およそ4分の3を占めている。



● 食料品製造業における起因物別転倒災害の割合

食料品製造業における休業4日以上
の転倒災害
H24～H26

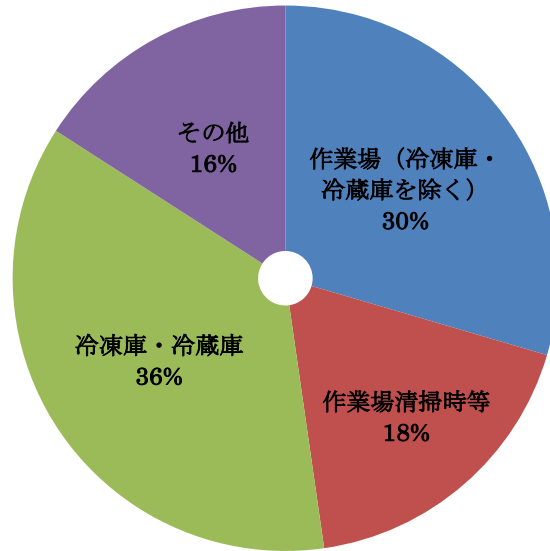


食料品製造業における転倒災害について、起因物別にみると、「濡れや凍結等による滑りやすい床面等」が38%、「移動可能な物による躓き等」が25%、「固定物（階段等を含む）による躓き等」が12%となっている。

● 食料品製造業における滑りやすい床面等に係る転倒災害

濡れや凍結等による滑りやすい床面等に係る転倒災害
食料品製造業（H24～H26）

「濡れや凍結等による滑りやすい床面等」に係る転倒災害は、食料品製造業の転倒災害の38%を占めているが、発生場所を見ると、作業場が48%（うち、清掃時が18%）、冷凍庫・冷蔵庫が36%となっている。



● 食料品製造業における年齢別転倒災害の割合

食料品製造業の平成24年から平成26年の年齢別の被災者の割合をみると、転倒を除く災害については、50歳代32%、40歳代と30歳代19%、20歳代15%等となっているが、転倒災害については、50歳代31%、60歳代29%、40歳代と20歳代11%等となっており、50歳以上が68%を占め、特に60歳以上が37%（転倒を除く災害の割合13%）を占めている。

食料品製造業における休業4日以上の災害発生状況
「転倒を除く災害」と「転倒災害」の年齢別比率

